



インターアクト

提唱ロータリークラブと
アドバイザー向けのガイド

インターアクトとは？

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。同世代の参加者と交流を深め、楽しく活動に参加しながら、地域に役立つボランティア活動に参加し、世界について学ぶこともできます。インターアクトクラブは月に2回、例会を開き、地元のロータリークラブがスポンサー（提唱クラブ）として支援します。インターアクトクラブは毎年2回の活動（学校や地域社会のための活動と国際理解をめざす活動）を実施します。提唱ロータリークラブの会員は、インターアクターが活動を行い、リーダーとしての力を身につけられるよう指導します。

目次

インターアクトクラブの結成	1
青少年と接する際の危機管理	3
インターアクトクラブの支援	4
アドバイザー：インターアクトの支援者として	5
ロータリー地区からのサポート	6
インターアクトの世界的コミュニティ	7
インターアクトを超えて：青少年・若者のためのロータリープログラム	8
ロータリーのリソース	9



インターアクトクラブの結成

1 ロータリークラブが率先して結成

インターアクトクラブの結成と成功は、熱意ある提唱ロータリークラブから始まります。ロータリー会員は提唱者、指導者、メンター（相談役）としてインターアクトを支援し、学校や地域社会に奉仕するインターアクターとともに活動します。ロータリー会員は、インターアクトクラブのリーダーの氏名をロータリーに報告し、ロータリーデータベースの記録を最新に保つ必要があります。また、インターアクトクラブが新しい体験に触れ、安全な環境で活動できるよう、支援を提供します。

今回のロータリークラブ例会でインターアクトの話題を取り上げましょう。地域社会の若きリーダーを支援したいと考えているほかの会員と協力し、どのようなインターアクトクラブが地元に必要なのかを話し合しましょう。地元と深いつながりのある提唱クラブは、新しい発想をもち、かつ地域の人たちの意見を取り入れることができます。インターアクトクラブ結成時には、「対象年齢」と「クラブの基盤」の2点をまず決定する必要があります。

対象年齢

インターアクト会員の対象年齢は12歳から18歳までです。ただし、地域社会のニーズ、クラブの関心、支援できる範囲に応じて、12歳～18歳の特定の年齢層に絞ることもできます。

クラブの基盤

各インターアクトクラブは学校を基盤とするか地域を基盤とします。学校を基盤とするインターアクトクラブの会員は1校の生徒から成り、地域社会を基盤とするインターアクトクラブの会員は、ロータリークラブが所在する地域内の複数の学校の生徒から成ります。

学校を基盤とするインターアクトクラブの場合、全学年の生徒が入会の対象となります。また、学校側から承認を得ることと、クラブの顧問教諭（アドバイザー）を任命することが必要です（顧問教諭について詳細は5ページを参照してください）。

地域を基盤とするインターアクトクラブを提唱する場合は、地域の他団体や自治体、学校などと協力して青少年に入会を呼びかけ、例会の場所を決定します。障害者や、リーダーシップ育成の機会に接することの少ない若者にも声をかけましょう。

インターアクトクラブの例会は、地理的に遠い生徒や自宅学習の生徒にも対応できるよう、対面式でも、オンライン（スカイプなど）でも、その両方の組み合わせでもかまいません。オンラインの例会は夏休みや春休みなど、学校が休業中も参加できるという利点があります。

地域内のほかのクラブと共同提唱したいとお考えですか？インターアクトクラブは最大3つのロータリークラブが共同提唱することができます。共同提唱する場合、インターアクターの支援と指導ならびに地域のロータリーの関係強化に関する責任を共同で負うことになります。

2 入会者の勧誘

クラブの種類を決定した後は、入会候補者に声をかけましょう。ロータリアンの家族など、ロータリーと既になじみのある青少年は、熱心なインターアクターとなる可能性があります。地元の人脈を生かして奉仕精神にあふれた若きリーダーを探し、インターアクトを紹介し、入会を勧めましょう。ロータリー青少年交換プログラムやロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の参加者や学友も、入会候補者として有力です。

学校を基盤とするインターアクトクラブを提唱する場合、勧誘方法について学校関係者に事前に相談しましょう。地域を基盤とするインターアクトクラブの場合は、既に地元の生徒たちが勉強やスポーツ、友だちとの交流に利用している場所を例会場所を選ぶとよいでしょう。コミュニティセンターやユースセンターにポスターを掲示したり、地域の他団体や自治体と協力したり、ソーシャルメディアを通じて、インターアクトクラブの紹介を行いましょう。説明会を開いて入会候補者を招き、質問に答えながら、インターアクト結成に向けた関心を高めていきましょう。結成に先立ってクラブの例会時間と場所を決めることもできます。

3 役員を選出

各インターアクトクラブには、会長、副会長、幹事、会計がいます。クラブは、提唱ロータリークラブの承認を得た上で役員を追加できます。役員を選出については、**標準インターアクト・クラブ定款・細則**を参照してください。

ロータリーとインターアクトの絆を深めるため、**インターアクトクラブの連絡先フォーム**でロータリーに自分の連絡先を通知するよう、インターアクトクラブ会長に奨励してください。このフォームを提出すれば、最新のインターアクト情報や資料、活動の機会について、ロータリーから直接情報を受信できます（このフォームの提出は必須ではなく、インターアクトクラブ会長が自分の判断で提出するものですが、青少年保護およびデータ取扱いの指針の順守という観点から、他人を通じて報告せずに、インターアクト自身自身が報告するという点で重要です）。

4 正式に設立

インターアクトを始めようという意欲のある青少年が集まったら、以下の手順でロータリーに正式な設立申請を行ってください。

- **インターアクトクラブ認定フォーム**に記入し、標準定款と細則を採用し、ロータリークラブと地区のリーダーから必要な署名をもらいます。
- 記入したフォームをスキャンし、**interact@rotary.org**へEメールで送信します。原本のコピーをファックスまたは郵送で**RI日本事務局**に送付します。インターアクトクラブ設立に認定料はかかりません。
- ロータリーがフォームを受領後、クラブの認定と結成認定状の発行までに、通常4週間～6週間かかります。認定状はロータリーから提唱ロータリークラブ会長へEメールで送付され、会長は署名をした上で、新しいインターアクトクラブにこれを贈呈します。

クラブの活動を始めるのに正式な認定状の到着を待つ必要はありません。まだ認定状を受け取ってなくても、新しいインターアクトクラブの会員は、ロータリークラブの会員の指導のもと、会合を開き、運営し、地域で活動を行うことができます。

5 設立の祝賀

認定状が届いたら、新しいインターアクトクラブの設立を祝うイベントを計画しましょう。このイベントは、インターアクトクラブとロータリークラブ（および関係各者）の関係を深めるだけでなく、新しいインターアクトがロータリー地区と関係を築く機会ともなります。インターアクトとその家族、学校関係者と教師、地元自治体や他団体、ロータリアン、地区リーダーなどを招待しましょう。

このイベントでは、インターアクトクラブの設立について発表し、会員と役員を紹介しますが、特に決まった形式はありません。クラブの個性を表したものとなるよう、アイデアを出しあって企画しましょう。ロータリークラブの伝統とインターアクトの若いエネルギーを融合させて、新しいクラブの幕開けを祝いましょう。

6 ロータリークラブとの絆を深める

クラブが正式に設立されたら、インターアクトがより自立して活動します。自分たちで例会を計画し、活動を運営することで、インターアクトが自信をつけることができます。とはいえ、設立後もロータリークラブの支援が重要であることに変わりはありません。合同例会を開催したり、ロータリー会員をメンターとして割り当て、ロータリークラブとインターアクトクラブの実り多い関係の橋渡し役となる熱意あるアドバイザー（ロータリアン、顧問教諭、地域の市民リーダーなど）を探しましょう（アドバイザーについては5ページを参照）。



青少年と接する際の危機管理

ロータリークラブが青少年とともに活動することは、地域とロータリークラブの将来への投資でもあります。ただし、この投資は、全活動が責任をもって運営されてはじめて実を結ぶものです。インターアクトクラブは周囲の社会から隔絶して存在するわけではなく、インターアクターが活動する世界は危険をはらんでいる可能性もあります。危機管理には、青少年の活動に関する潜在的リスク（けが、病気、虐待など）を理解し、その予防や軽減に努めることが含まれます。インターアクターおよび青少年全般と接する際の安全手順を決める上で考慮すべき点は、以下の通りです。

- RIのロータリー章典に規定された青少年保護の指針を順守すること。
- 会合、活動、奉仕活動は必ず成人が監督をすること。
- 監督のない状況でインターアクターと長時間接するすべての成人（ロータリアン、顧問教諭、メンター、監督者を含む）の審査を行うこと。
- オンライン活動（オンライン例会やソーシャルメディアの活用など）への青少年の参加については、地元や国のガイドラインに従うこと。
- 地元地域外に旅行する際にはRIの青少年の旅行の指針に従うこと。

肉体的、性的、あるいは精神的な虐待およびハラスメントに関するクラブの青少年保護の指針を作成し、これを順守すること。虐待やハラスメントの報告があった場合は、速やかに地区リーダーや地元の警察に通知します。指針の詳細と要件については、地区の青少年保護担当役員、ロータリー青少年交換委員長、または地区ガバナーにお問い合わせください。

参加する成人と青少年の行動規範を作成すること。この規範には、国の法律と文化的規範をはじめ、地区やクラブの指針、青少年保護に関するベストプラクティスを反映させてください。

旅行、電動工具の使用、重い物の移動、野外奉仕活動への参加など、潜在的に危険をはらんでいる状況では、迅速に対応できるよう常に地区リーダーに事前に連絡すること。

インターアクトのプロジェクトと活動の計画には、潜在的危機の評価とその対応策を示した危機管理計画を含めること。提唱クラブとして、以下の質問を念頭において危機管理計画を立ててください。

- けが人が出た場合にどうするのか
- 参加者から不適切または危険な行動の報告があった場合にどうするのか
- プログラムまたはイベント開催中に自然災害が発生した場合にどうするのか

潜在的危機を最小限に抑える以下のような措置を取ること。

- 地区の指針とベストプラクティスに沿ってボランティアの審査と研修プログラムを実施する。
- プログラム実施中の安全な行動について参加者に指導する。
- 独自の災害緊急対応策を立てておく。
- 適切な損害賠償保険に加入する。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために、安全な環境をつくり、維持するために努力しています。ロータリアン、ロータリアンの配偶者、その他のボランティアは、最善を尽くして、接する児童や青少年の安全を守り、肉体的、性的、精神的虐待から彼らを保護しなければなりません。

この規範に関するご質問は、Eメール(interact@rotary.org)でお問い合わせください。



インターアクトクラブの支援

未成年であるインターアクト会員にとって、インターアクトが初めてのクラブ活動や奉仕活動である場合もあります。このため、ロータリアンが例会に出席し、インターアクトクラブの会計記録を監督します。インターアクトクラブは基本的に自立した団体であり、ロータリークラブからの財政的支援をほとんど必要としませんが、資金の管理についてはロータリアンからの指導が必要です。

ロータリアンは、提唱したインターアクトクラブにおいて積極的な役割を果たすことで、インターアクターがリーダーとしての力を身につけ、地元地域との関係を築き、ロータリーファミリー一員となるための手助けをします。

インターアクトの活動内容は地域によって異なりますが、ロータリアンが提供する支援は世界のどこでも同じです。インターアクターを支援するためにできることを以下にご紹介します。

一緒に活動する

青少年が主導するボランティア活動に参加しましょう。また、ロータリークラブの行事に参加するようインターアクターに呼びかけましょう。

指導する

ロータリークラブの奉仕活動から得られたベストプラクティスや教訓を、インターアクターにも教えてあげましょう。また、ロータリーの重点分野に沿った活動ができるよう、インターアクターを手助けをしましょう。

活動を広報する

インターアクトクラブの活動をロータリークラブのニュースレターや地区のウェブサイトで紹介しましょう。

ともに学ぶ

インターアクターを地区大会に招きましょう。また、地区のインターアクト研修会にロータリアンが参加しましょう。

新しいアイデアを取り入れる

積極的に参加し、入会したくなるような活気あるクラブを作る方法について、アイデアや意見を交換しましょう。

成功を祝う

インターアクターがリーダーシップの力を発揮できる活動を計画しましょう。会長賞（インターアクトクラブ部門）、毎年恒例のインターアクト・ビデオコンテストなどへの参加を勧めましょう。毎年11月の世界インターアクト週間には、特別な奉仕プロジェクトやイベントと一緒に企画しましょう。

関係を強化する

インターアクターにロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）やローターアクトを紹介しましょう。リーダーシップ、コミュニケーション、チームワークの力を養うため、インターアクト役員をRYLAイベントに招くとよいでしょう。大学に進学するインターアクト会員を、その大学のローターアクトクラブに紹介しましょう。



アドバイザー：インターアクトの支援者として

インターアクトのアドバイザー（顧問）は、学校や地域の青少年のよき理解者として、支援を提供する成人を指しています。インターアクトクラブの日々の運営を支援し、国際ロータリーにとってクラブの窓口としての役割を果たすと同時に、クラブとインターアクターがロータリーの指針に沿うよう指導しながら、青少年を守る立場にあります。

奉仕活動においてインターアクターを指導する顧問を、各インターアクトクラブに1名以上指定する必要があります。提唱ロータリークラブのロータリアン、教諭、保護者、地域のボランティアなどが顧問となることができます。ロータリーアクト会員も優れたインターアクト顧問となるでしょう。必須条件として求められる顧問は1名のみですが、指導や支援の面で複数の顧問がいることはクラブにとってメリットになります。

ロータリー関連の顧問に加え、学校を基盤とするインターアクトクラブには顧問教諭が必要です。顧問教諭はインターアクターが学校の課外活動や学業をしっかりとこなしていることを確認します。

+ インターアクト顧問には次のような責務があります。

指導と励まし

- プロジェクト計画時に助言をする。
- つらい時期に元気づける。
- 対立が起きた場合に、建設的な解決法を促す。
- 役員選挙を監督し、公平な選挙となるよう指導する。
- 画期的なプロジェクトのアイデアを支持する。

援助と保護

- 例会に出席し、全員が仲良く、安心して参加できる環境であることを確認する。

- 活動やプロジェクトを監督する。
- 活動に必要な備品やプロジェクト実施地での諸手配を行う。
- インターアクトイベントの年間予定表の作成を手伝う。
- ソーシャルメディアの活用について保護者の同意を得る。
- 青少年が旅行をする、成人と接する、ソーシャルメディアを使用する場合は、常にロータリーの指針に沿っていることを確認する。

交流と指導

- 地区インターアクト委員長と、経験、アイデア、戦略について情報交換する。
- 正確なクラブの会計記録の作成を援助し、クラブの資金を監督する。
- クラブが毎年ロータリーに連絡先を通知していることを確認する。
- インターアクトクラブについてロータリアン、学校の指導者、地域住民への周知を図る。
- インターアクト役員にRYLA、地区イベント、地元の研修の機会を知らせ、リーダーシップ育成研修に参加できるように調整する。

毎年7月1日までに、インターアクト顧問に関する最新情報がロータリーに通知されているかどうかを確認してください。複数年にわたり同じ人がアドバイザーを務めている場合でも、インターアクトクラブの連絡先書式を毎年提出する必要があります。



ロータリー地区からのサポート

インターアクトクラブの監督と指導において主な役割を果たすのは提唱ロータリークラブですが、ロータリー地区もインターアクトを支援します。ロータリーではインターアクトの推進と強化のため、地区レベルの役割、委員会、研修会を設けています。さらに地区は、インターアクターがイベントや奉仕プロジェクト、研修会などに参加できる機会を設けるようにします。

+ 地区委員会

地区ガバナーは、以下の委員会を任命してインターアクトとロータリーの青少年リーダーに関する他のプログラムの促進と強化を図ることが奨励されています。

地区インターアクト委員会

ロータリアンとインターアクターの両方を委員に含むことができます。この委員会は、インターアクトの振興、新しいクラブの奨励、クラブに対する支援を提供します。

地区青少年奉仕委員会

この委員会は、青少年や若者がロータリープログラム間を移行できるよう支援しながら、若者たちがリーダーシップを発揮できる機会を少しずつ大きくしていきます。また、プログラム間の関係を強化し、参加者に対して学友活動への参加を奨励します。

+ 地区の役割

以下の役割を通じて、各地区にはインターアクトを支援する機会があります。すべての役割はロータリアンが務めますが、地区インターアクト代表だけはインターアクト会員が務めます。

地区ガバナーは、地区内のすべてのプログラムと活動を支援します。ガバナーが新しいインターアクトクラブとインターアクトクラブの共同提唱を承認し、地区インターアクト委員長をはじめとするリーダーを任命します。

地区インターアクト委員長は、インターアクト・プログラムを管理し、すべてのクラブが連絡先をRIに毎年提出していることを確認します。また、インターアクトクラブ同士の関係を深め、インターアクトとロータリーとの関係強化につながる斬新な方法を探ります。

地区内に3つ以上のインターアクトクラブがある場合、インターアクターは**地区インターアクト代表**を選出することができます。地区インターアクト代表は、インターアクトクラブの活動を促し、国際理解に対するさらなる貢献をはぐくむインターアクト会員です。

地区青少年奉仕委員長は、インターアクターが地区レベルでロータリーに参加する機会を見つけ、ロータリーの青少年リーダー向けプログラム、学友参加活動、会員増強の相互の関連を促進します。

地区青少年交換委員長は、ロータリー青少年交換プログラムの運営に加え、青少年保護と危機管理に関して重要な役割を担います。

地区青少年保護担当役員は、ロータリーの青少年保護の指針と手続きに関して助言します。

地区学友委員長は、インターアクトからローターアクトへの移行を促し、学友を他のロータリーの機会へとつなぎます。

地区インターアクト委員長ですか？ 地区ガバナーに、あなたの連絡先をロータリーへ通知しているか確認してください。通知済みであれば、インターアクトのニュースや情報に関するEメールを受信できます。

地区イベント

インターアクターとロータリアンと一緒に学び、奉仕することで、その後も関係が長く続いていくものです。地区リーダーと協力して、インターアクターとロータリアンが同じ研修や大会に参加すれば、奉仕の精神にあふれた人たちとアイデアを交換することができます。

地区インターアクト研修

地区インターアクト委員会の最も重要な責務のひとつに、インターアクトクラブ役員、インターアクトクラブ委員長、顧問ロータリアン、顧問教諭に対する研修があります。研修の日程は、役員やリーダーが就任する遅くとも1か月前までとし、新しい役割に慣れるための期間を設ける必要があります。

地区インターアクト大会

毎年恒例のイベントを開けば、インターアクター同士が活動のアイデアを交換しあい、インターアクトが地域で果たしている役割をより良く理解することができます。このようなイベントは、社会奉仕への意欲をかき立て、リーダーシップの力を養う絶好の機会となります。

多地区合同会合

複数地区のクラブが集まることで、互いに学び合い、活動で協力しあい、世界で活躍するインターアクターの姿を見るなど、視野を大きく広げることができます。

インターアクトの世界的コミュニティ

インターアクトは、青少年リーダーがロータリーのグローバル・コミュニティとのつながりを持つことで、関係を構築し、他の文化を学び、世界各国の仲間とアイデアを交わすことができるという点が優れています。提唱クラブの会員も、自らのネットワークを広げ、国際理解を深め、青少年がリーダーとして成長するため積極的に支援する他のロータリアンとの関係を深めることができます。

インターアクターが地域内または世界の他のクラブと関係を築くための支援方法をいくつか紹介します。

- まずは地区から始めましょう。**My ROTARY**にログインして、地区内インターアクトクラブの一覧を開き、それぞれの提唱クラブと顧問に連絡を取ってみましょう。互いのクラブについて紹介し、地区規模の奉仕プロジェクトを計画したり、インターアクターを地区のリーダーシップ研修に招待するのもよいでしょう。
- 特定の地域のインターアクトクラブと関係を築きたい場合は、公式名簿をチェックしましょう。名称の後に(I)が付いているロータリークラブは、少なくとも1つのインターアクトクラブを提唱しています。提唱クラブの会長と連絡を取り、オンラインで交流したり、双子クラブの関係を築くことができます。
- ソーシャルメディアを通じてネット上で交流することもできます。ロータリーの**インターアクトFacebook**ページでは、リアルタイムで世界各国のインターアクターが考えていることを知り、それぞれが地域でどんなボランティア活動をしているかを知ることができます。ほかのインターアクトクラブや地区に連絡し、友好を深め、プロジェクトのアイデアについてブレインストーミングし、活動の写真をシェアしましょう。
- Rotary.org でロータリーのソーシャルネットワークを活用しましょう。My ROTARYで自分のプロフィールを作成したり、インターアクターやインターアクトにかかわるロータリアンとつながることができます。また、ロータリアンが主導するフォーラムで情報交換をし、活動で協力できる海外のインターアクターを見つけてみましょう。
- インターネットの力を活用しましょう。ほんの数分調べるだけで、世界中のクラブや地区のウェブサイトが見つかり、インターアクトとかわるロータリアンの連絡先や情報を調べることができます。



インターアクトを超えて: 青少年・若者のためのロータリープログラム

インターアクトは、ロータリーが青少年に投資する方法のひとつにすぎません。詳しくはRotary.orgを参照し、参加方法について地区リーダーに問い合わせてみてください。ほかの青少年プログラムについてインターアクターに伝え、ロータリーであらゆる機会を存分に体験できるようにしましょう。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、クラブと地区が組織するリーダーシップ体験プログラムです。それぞれのRYLA行事には、自信をつける、スキルを伸ばす、仕事のスキルを身につける、人間的成長を促す、といった特定のテーマがあり、どれも若者がリーダーとしての能力を伸ばし、新しい友人をつくる機会となるものです。

ロータリー青少年交換プログラムでは、ロータリーの世界的コミュニティ（地区、クラブ、ホストファミリー、学校）を通じて、世界70カ国以上で学生が新しい文化を発見し、外国語を学び、平和の親善大使となる機会を設けています。

ローターアクトは、インターアクト卒業後の次のステップとなるプログラムです。18～30歳を対象とし、地元地域や海外で奉仕プロジェクトを実施しながらリーダーとしての能力を伸ばしています。

新世代交換プログラムは、18～30歳の若者が人道的・職業的分野に重点を置いた国際交流体験ができるプログラムです。



ロータリーのリソース

+ オンラインツール

- **ブランドリソースセンター:** インターアクトクラブのロゴをカスタマイズしてダウンロードし、広報資料やクラブのTシャツなどに使用できます。
- **ロータリーショーケース:** 完了した奉仕プロジェクトの事例からアイデアを得たり、自分のクラブのプロジェクトを投稿して世界中の仲間に見てもらいましょう。
- **ロータリーアイデア応援サイト:** 奉仕活動のアイデアを探す、あるいはプロジェクトのための資金、ボランティア、物資、パートナーを募ることのできるサイトです。
- **フォーラム:** 世界中の会員と経験やアイデアを共有できます。
- **インターアクトFacebookページ:** インターアクターや支援者のロータリアンとつながりましょう。

+ イベントと賞・表彰

- **世界インターアクト週間:** 世界で最初に結成されたインターアクトクラブの創立記念日である11月5日の週に、世界各国でのインターアクトによる貢献を祝い、活動をアピールする機会です。
- **インターアクト・ビデオコンテスト:** インターアクトでの体験を作品にして、ぜひご応募ください。
- **会長賞 (インターアクト部門):** 地域社会に貢献しているインターアクトクラブを会長が表彰するプログラムです。

+ コミュニケーションと出版物

- **ビジュアルアイデンティティのガイド: ロータリーの青少年プログラム:** ロゴ、カラーパレット、タイポグラフィなどのデザインの指針とベストプラクティスをご紹介します。
- **インターアクトの方針声明**
- **標準インターアクトクラブ定款・細則**
- **インターアクトクラブ認定フォーム**
- **ロータリーの重点分野:** 6つの重点分野を紹介し、各分野の奉仕プロジェクトの例を紹介しています。
- **地域調査の方法:** 地域社会内で効果的な奉仕プロジェクトを特定するためのガイド。
- **ロータリー章典:** RI定款・細則を支えるためにRI理事会が定めた方針と手続き。
- **Young Leaders in Action:** インターアクトを含むロータリーの青少年リーダー向けプログラムに関する、毎月発行のEニュースレター

インターアクトクラブの提唱、共同提唱、支援に関する詳細については、[Rotary.org](https://rotary.org)を参照してください。ご質問はEメールで interact@rotary.org へお問い合わせください。

本資料は「インターアクト：提唱ロータリークラブとアドバイザー向けガイド」（旧「インターアクト要覧」）の2016年版です。本書の内容は、国際ロータリー定款と細則およびロータリー章典に基づいています。RIの方針の詳細に関しては、これらの文書を参照してください。RI理事会によって加えられた上記の文書に対する変更は、本書に記されている方針に優先することになります。

このガイドは、国際ロータリーの新世代プログラム部により作成されました。ご質問やご意見がありましたら、interact@rotary.orgまでご連絡ください。



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org